

本寿院 様

2013 年度  
ラオス・パックラオ小学校建設事業  
着工報告書



建設事業契約書への調印式の様子

2014 年 2 月 27 日



公益社団法人  
シャンティ国際ボランティア会  
私たちは向き合います。苦難の中にいる人々と世界に。

1. 事業名： パックラオ小学校建設事業
2. 協力団体： パックラオ小学校建設委員会、ルアンパバーン県教育スポーツ局、  
ヴィエンカム郡教育スポーツ事務所
3. 事業実施団体： 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
4. 事業対象地： ラオス・ルアンパバン県ヴィエンカム郡パックラオ村
5. 事業期間： 2013年10月～2014年5月（予定）
6. ご支援者名： 本寿院様（東京都大田区）
7. 事業内容：
  - ・ 小学校校舎  
瓦屋根鉄筋コンクリート煉瓦作り平屋校舎1棟（3教室）
  - ・ 教室内備品  
児童用の机椅子60組、教師用の机椅子3組、黒板9枚、  
本棚3基、トイレ2ブース、給水設備
  - ・ 研修会  
学校運営研修会、校舎・トイレ清掃研修会
8. 事業責任者： 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会  
東京事務所 事務局長 関尚士  
海外事業課ラオス担当 鈴木淳子  
ラオス事務所 所長 加瀬貴  
事業調整員 カムコーン・クンチャムヌーン

9. ご報告：

9-1. 調印式：2013年9月18日

2013年9月18日、パックラオ小学校建設事業の調印式が行われました。パックラオ村はヴィエンカム郡の中心地域から60キロ、ルアンパバーン県中心地域より247キロ離れた場所に位置しています。調印式では、地域住民と建設会社が初めて一同に集まる機会となり、建設業者から建設に関する契約事項、および建設事業の工程が共有されました。式典に参加したパックラオ小学校教員、村の役員会、地域住民、そしてラオス国教育省、ルアンパバーン県教育スポーツ局、ヴィエンカム郡副知事、ヴィエンカム郡教育スポーツ事務所の方々に本事業の着工が見届けられました。本地域では、今までにこのような大規模な建設事業が実施された

ことはなく、地域住民にとっては待ちにまった式典となり、出席者が喜んでいる姿を見るにつけ、地域住民や関係者の全員が同事業の実施に大きな期待を寄せていることを強く感じられる式典となりました。

調印式を行う以前に、パックラオ村の住民が学校建設に主体的に参加していく活動の一環で、村周辺の森林から、校舎の屋根の骨組み・基礎に必要な木材を調達しました。現在のラオスでは木材の伐採規制が厳しくなっているため、住民であっても許可を得るには多くの手続きを必要となっています。パックラオ小学校に使用する木材の調達のためにも、木材伐採の許可を郡行政から得るまでに 2 週間ほどかかりましたが、その後住民は約 1 ヶ月半の時間をかけて、必要な木材を森林から調達しました。

調印式直後に、基礎工事に必要な木材以外の資材（鉄筋、セメント、レンガ）が建設業者による搬入と同時に建設が開始されました。

建設業者の選定は、先ず、当会から建設会社 10 社以上に公開入札の実施を連絡し、入札への参加を希望した 9 社から、ルアンパバーン県での建設の経験や実績、価格などの条件を考慮し、建築専門家の助言を受けながら慎重に絞り込みました。最終的には、SVA ラオス事務所所長、本事業の担当スタッフによる面談を経て建設業者が選定されました。小学校の建設予定地は、パックラオ村の村人と小学校の教員が中心となり、県教育局や郡教育事務所との話し合いにより決定しました。また、小学校の教員によって、学校の正門や花壇の設置案などを含む、将来的な学校環境の整備計画を盛り込んだ学校整備図が作成されました。学校整備図は、児童たちに学校の整備計画を知ってもらうため、現校舎の職員室の掲示板に貼り出されています。

## 9-2. 着工モニタリング調査結果

ルアンパバーン県教育局、ヴィエンカム郡教育事務所、パックラオ村の村長、パックラオ小学校の教員、そして SVA ラオス事務所とで、建設の進捗確認のための着工時のモニタリングを実施しました。モニタリングでは、校舎の土台部分や支柱部分の基礎工事の進捗を確認しました。この時点で、柱の骨組みとなる複数の鉄筋を補強の手法の不具合があることを見つけ、建設会社への改善を依頼しました。一方、パックラオ村の住民は、建設に使用する土の搬入と簡易的な建設作業への積極的な協力がされていることを確認しました。

村人と教員は、毎日、建設の進捗を確認のために、現場に足を運んでいることの報告がありました。

## 11. 児童、教員と住民の声

コムさん パックラオ小学校 4年生 11歳



新しい小学校を立ててくださる、本寿院様の皆さまに「ありがとうございます！」と言いたいです。きれいなトイレがある、きれいな学校に通うのは、はじめてです。新しくきれいな学校に通えるなんて、思ってもいなかったので、とてもうれしいです。学校の建設が始まったのを見て、とてもうれしい気持ちになりました。学校が完成したときには、みんなできれい使っていきたいと思います

毎日、お友達とちゃんと学校にきて、先生にいろんなことを教えてもらって、たくさん勉強をします。

最後に、日本の本寿院様の皆さまのご健康とお幸せを祈っています。



新しい学校ができるなんて思ってもみなかったのですが、先生から、日本の本寿院様が新しい学校を建てて下さると聞いて、とても嬉しく思っています。

ありがとうございます。

僕は、新しい学校で、友達と一緒に勉強できることをとても楽しみにしています。学校ができたら、校舎とトイレがずっとキレイになっているように、先生とお友達と、きちんとお掃除します。

最後に、僕の村に新しい学校を建てて下さる、本寿院様、本当にありがとうございます。本寿院様が、ずっとお元気で、幸せが続くことを、パックラオ村から祈っています。

ヴィアンサイ先生（左側） シーチャン先生 パックラオ小学校 教員



パックラオ小学校の教員を代表して、本寿院様の心温まるご支援に感謝申し上げます。このように素晴らしい校舎が村にできるのは、私たちにとって初めてのことです。これまで児童にとっても、私たち教員にとっても、学校の環境は決して良いものではありませんでした。これからは、非常に素晴らしい教育環境でより良い教育を提供できるように頑張ります。地域住民、県や郡の教育局、そして他の関係者の方々と協力して、校舎建設の進捗確認を毎日行い、この建設事業を成功させたいと思います。そして、地域での教育のより良い発展のために、一生懸命頑張ってまいりたいと思います。最後になりましたが、ご支援くださいました本寿院様のご健康とご多幸、そしてご成功をお祈り申し上げます。

シーヴォン氏 パックラオ村 副村長 29歳



新しい校舎とトイレの建設を支援してくださいました本寿院様に感謝申し上げます。村の子どもたち、そして教員が安全で快適な教育環境で学び、教えることができるようになることを大変嬉しく思っています。新しい校舎が村の教育にとって、とても重要であると信じています。私たちは、学校建設を支えるために、木材や労働力の提供、そして必要な行政手続きなど、一生懸命頑張っていきたいと思えます。建設が完了するまで、毎日進捗の確認を実施すると同時に、村の大人たちに対して、学齢期の子どもを学校に通わせるように、より一層促していきたいと思います。村を代表して、改めて本寿院様に御礼申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸、そしてご成功をお祈りしています。皆様がいつかパックラオ村に来て下さることを楽しみにしています。

## 12. 調印式、建設中の校舎の様子：

- ◆パックラオ村村長（左）、ヴィエンカム郡教育事務所副局長（右）が契約書に署名している様子



- ◆パックラオ小学校校長（左）、パックラオ村役場事務官（右）が契約書に署名をしている様子。





◆基礎工事が行われている様子。



◆校舎の柱を立てる基礎部分。



◆教室の基礎部分。



◆トイレの基礎部分。



◆建設専門家による調査の様子。



以上

